

令和7年8月定例教育委員会会議録

○日 時 令和7年8月19日（火） 午後3時00分～午後3時53分

○場 所 櫛引庁舎 3階 教育委員室

○出席委員 教育長 成澤 和則

1 番 百瀬 克浩（教育長職務代理者）

2 番 佐藤 涼子

3 番 中村 公俊

4 番 小林 真貴子

○欠席委員

○出席議事説明職員氏名

教育部長	白幡 有	管理課長	石川 聡
管理課主幹	伊藤 智康	学校教育課長	秋山 尚志
学校教育課指導主幹	落合 正幸	社会教育課長	五十嵐 依久子
参事兼藤沢周平記念館長	沼沢 紀恵	次長兼スポーツ課長	阿部 三成
中央公民館長	観世 安司	図書館長	五十嵐 恭子
給食センター所長	大塚 昌史		

○出席事務局職員氏名

管理課課長補佐 上野 美嘉

【会議次第】

1 開会

2 市民憲章唱和

3 会議録署名委員の指名

4 議事

日程第1 議第24号 鶴岡市教育委員会事務事業の点検・評価について

日程第2 議第25号 令和8年度使用鶴岡市立小学校教科用図書の採択について

日程第3 議第26号 令和8年度使用鶴岡市立中学校教科用図書の採択について

日程第4 議第27号 令和8年度使用鶴岡市立小・中学校特別支援学級教科用図書の採択について

日程第5 議第28号 鶴岡市立図書館協議会委員の任命について（非公開）

日程第6 議第29号 鶴岡市郷土資料館運営委員会委員の委嘱について（非公開）

5 報告事項

（1）臨時代理処理事項の報告について（非公開）

（2）藤島地域義務教育学校整備の進捗について

（3）第20回鶴岡市芸術祭について

（4）藤沢周平氏生誕100年に向けた、小学生向け教材について

(5) 生誕 100 年記念丸谷才一展について

(6) その他

開 会（午後３時）

教育長 ただいまから８月の定例教育委員会を開会する。はじめに、市民憲章唱和を行う。

（社会教育課長が先唱し市民憲章唱和）

教育長 本日の会議録署名委員は、１番委員に願います。

それでは議事に入る。本日の日程第１議第２４号について、事務局より説明願う。

管理課長 事務事業の点検・評価については、５月定例教育委員会において、対象事業を議決いただいた後、委員の皆様から意見をいただくとともに、外部評価者からの点検と評価をいただき、報告書案がまとまった。本日は、報告内容の決定についてお諮りする。委員の皆様には、これまでに各個票を確認いただいているので、今回は外部評価者による評価内容の概要について説明する。

管理・学校教育分野は、昨年に引き続き、元小学校長 栗田英明氏より評価をいただいた。地域や児童生徒の課題を踏まえ目標を明確にし、着実な成果を上げていると総括をいただいた。

「通学対策事業」では、スクールバス運行や通学経費助成による負担軽減に加え、防犯・安全、熱中症、鳥獣被害など地域の実情に応じた支援策を実施している点が評価された。「学校改築事業」では、朝陽第五小学校の改築が令和８年３月の竣工に向け計画通り進捗している点が評価され、今後の充実した教育環境整備に期待が寄せられた。「地域とともにある学校づくり推進事業」では、学校運営協議会設置校での学校と地域の協力深化が評価された。「ＧＩＧＡスクール構想推進事業」では、タブレットや授業支援ソフトの活用から、発表やレポート提出など授業内での利用が広がり、個別最適な学びが推進されたことが評価された。「学校系ＩＣＴ機器等整備運用事業」では、校務支援ソフトによる効率化が授業準備や事務作業の時間創出につながっている点が評価され、さらなるＩＣＴ環境の整備が期待された。「学校給食センター管理運営事業」では、伝統食や郷土料理の献立化による食文化継承など、ユネスコ食文化創造都市の特色を生かした取組が評価された。

次に社会教育分野は、今年度新たに評価者となっていた、元小学校長・元幼稚園長 奥山慎氏から評価をいただいた。幅広い対象者や多様なニーズに応え、市民の声を事業運営に活かしている点や、その成果が様々な形で現れている点を高く評価いただいた。「地域学校協働活動推進事業」では、学校と地域が協働して子どもたちの学びを支えている点が評価された。また、研修会については、未実施校や運営協議会委員の参加が望

まれるとのコメントをいただいた。「文化会館管理運営事業」については、地域創造大賞（総務大臣賞）受賞への評価と、今後の魅力ある自主事業の展開への期待をいただいた。「民俗芸能等保存伝承事業」では、鶴岡市民俗芸能交流発表会が担い手の意欲向上につながっていると評価された一方で、後継者不足に対し、引き続きの対応が求められた。「中央公民館管理運営事業」では、開館から41年となる経年劣化への計画的改修が望まれるとのコメントをいただいた。「藤沢周平記念館管理運営事業」では、展示事業での創意工夫や、ソフト事業の開催を通した多様な楽しみ方の提供が評価された。「図書館・郷土資料館管理運営事業」では、子ども読書活動推進や市民読書奨励に係る事業展開、郷土史講座や企画展示による魅力発信への取組に評価をいただいた。

最後に、スポーツ分野は元高等学校長 田中芳昭氏より評価いただいた。全ての点検項目において、第2期鶴岡市スポーツ推進計画に基づき、市民の健康意識の向上やスポーツ環境の改善に向けた取組を進めている点に敬意と高い評価をいただいた。「ウォーキング等普及推進事業」では、「国際ノルディック・ウォーク in 鶴岡」で広く全国からの誘客を図った点や、健康課と連携した「つるおか健康ポイント」事業の開始が評価されたが、市民への浸透不足を指摘いただいた。「体育施設整備・管理運営事業」では、体育施設のトイレの洋式化について、計画的な拡大が望まれたほか、人工芝グラウンドの利活用検討に関心が寄せられた。「スポーツ少年団本部支援事業」では、地域クラブや総合型スポーツクラブとの連携強化の重要性が指摘されるとともに、指導者育成への注力が求められた。

なお、今後のスケジュールは、本日の協議、議決を経て最終決定した報告書を、9月初旬を目途に、鶴岡市議会議員に配付するとともに、市のホームページにも掲載し、広く市民の皆様に公表する。

教育長

ただいまの議第24号について、質問、意見等はないか。

1 番委員

外部評価の内容ということで、一部今後への期待や、課題となる部分も指摘されているが、概ね高い評価を得ていることは、事業の取組について、大変有益また実効があるものと思う。

この事務事業の点検評価自体への意見ではないが、先日、市長の話の中で、EBPM（エビデンス・ベースト・ポリシー・メイキング）、「証拠に基づく政策立案」という視点があつた。様々な成果が、政策立案に繋がって初めて評価が生きてくるのだと考える。この評価と次年度の政策立案の関係性が、見えづらい部分もあるので、この点検評価のあり方も、次の政策立案への繋がりを見据えて発表できると、より有効なものになっていくのではないかと。今後の検討を期待する。

教育長

評価の仕方に対する1つの視点として、その点も踏まえ今後評価の方法

を検討したい。今回の点検評価については、ほかに意見、質問はないか。
それでは議第24号について、賛同の方は挙手をお願いします。

各委員
教育長

(全員挙手)

全員挙手により可決された。

次に、日程第2議第25号から日程第4議第27号までの議案3件を一括して議題とする。事務局から説明をお願いします。

学校教育課指
導主幹

議第25号から議第27号までについて説明する。本議案3件については、「義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律」第13条、14条の規定により、来年度使用する教科用図書の採択について、教育委員会で議決し、県教育委員会に報告するものである。

まず、議第25号について説明する。小学校の教科用図書については、令和5年度に採択され、令和6年度から令和9年度まで4年間継続使用することとなっており、別紙一覧のとおりである。

次に、議第26号について説明する。中学校の教科用図書については、令和6年度に採択され、令和7年度から令和10年度まで4年間継続使用することとなっており、別紙一覧のとおりである。

最後に、議第27号について説明する。小中学校の特別支援学級で使用する教科用図書について別紙一覧のとおりだが、これらの教科用図書は、特別支援学級の児童生徒の実態に合わせて、使用可能な教科用図書を大枠として採択し、採択された別紙一覧の中から、各学校で適切な教科用図書を使用できるようにするものである。具体的には、次の4つの場合がある。1つめは、先に説明した当該学年使用の教科用図書を使用する場合。2つめは、下学年の教科用図書を使用する場合。3つめは、文部科学省作成の星印の教科用図書を使用する場合。4つめは、別添の一般図書を使用する場合である。

教育長

ただいまの議第25号から議第27号までに、質問、意見等はないか。

それでは議第25号から議第27号までについて一括して採決する。これらの議案について、賛同の方は挙手をお願いします。

各委員
教育長

(全員挙手)

全員挙手により可決された。

続いての議案であるが、日程第5議第28号から日程第6議第29号までは人事案件のため、また、報告事項(1)は、議会に上程される前の議題のため、非公開とすることに異議はないか。

各委員
教育長

異議なし。

異議なしと認め、議第28号から報告事項(1)までを非公開とする。
傍聴の方は退席をお願いします。

(会議録は別記録とする)

教育長

続いて報告事項（２）について、事務局より報告をお願いする。

管理課長

7月18日の午後6時30分から8時5分まで、藤島庁舎3階大会議室において、第1回藤島地域義務教育学校設立準備委員会を開催した。委員は16名が出席し、市からは市長、教育委員会の関係者、藤島庁舎の各課、さらに健康福祉部の担当課長などが出席した。傍聴者は5名であった。

会議の内容については、まず、委員長に齋藤昭彦氏、副委員長に近藤直志氏が選出された。次に事務局から、設立準備委員会の設置の趣旨やこれまでの経過、今後のスケジュールを説明した。続いて、整備基本構想（案）について協議を行った。この中で「架け橋プログラムへの視点が不足しているのではないか」という意見が出された。これについては、今後、構想の中に明記する方向で修正することとなった。さらに、小学校の早期統合の検討について協議を行った。その際「子どもの意見を聞くために、児童アンケートを実施してはどうか」という意見が出された。これを受け、小学4年生から6年生を対象にアンケートを実施することとした。

その他では、藤島文厚エリア構想の今年度の協議の見通しについて、藤島庁舎の総務企画課から説明した。以上、第1回設立準備委員会の会議結果の概要について報告する。

教育長

ただいまの報告に質問、意見はあるか。

なければ、次に報告事項（３）について、事務局より説明願う。

社会教育課長

鶴岡市芸術祭は、鶴岡市芸術文化協会と鶴岡市教育委員会が主催となり毎年開催しているもので、今年度は42公演47団体の参加により、8月27日（水）から12月7日（日）まで、荘銀タクト鶴岡、鶴岡アートフォーラム、中央公民館などの会場を中心に開催される。また、協賛事業として、市内各地域の文化祭も開催され、芸術の秋にふさわしい催しとなっている。

今回は第20回という節目であり、また市制施行20周年記念事業としての開催となる。このことを記念して、9月6日（土）に荘銀タクトで行われる開幕行事では、式典のほか、鶴岡土曜会混声合唱団の記念公演と元NHKエグゼクティブ・アナウンサーである石澤典夫氏を迎えた記念講演会を行う。皆様にも、ぜひ芸術祭参加公演に来場いただきたい。

なお、閉幕のつどいは12月20日（土）に東京第一ホテルで行う。

教育長

ただいまの報告に質問、意見はあるか。

なければ、次に報告事項（４）について、事務局より説明願う。

藤沢周平記念
館長

本市出身の直木賞作家で、市の特別顕彰とされている藤沢周平氏は、令和9年1月に没後30年、令和9年12月に生誕100年を迎える。この機会に藤沢氏を知っていただくため、小学生向け教材をデジタル配布する。小学校

の4年生5年生を対象に、学校教育課を通し、今月下旬にデータで配布する予定である。

内容は、藤沢周平記念館の場所、館内の様子、藤沢氏の功績などを簡単に紹介しながら、家族によく「普通が一番だよ」と話されていたエピソードなど、氏の人柄にも触れている。また、藤沢氏の書かれた本がどのくらいあるのか、市内の書店の状況なども写真を入れながら紹介をしている。また作品の中に出てくる鶴岡の食べ物も掲載し、身近に感じられるよう工夫した。

先日の校長会において、各校の校長に紹介し、地域学習などへの活用をお願いするとともに、記念館で出前授業や、来館の際の案内なども行っている旨を周知した。今後も通常の企画展に加え、藤沢周平氏生誕100年記念事業に向けた取組を進めていく。

教育長

ただいまの報告に質問、意見はあるか。

小学生にも非常にわかりやすい内容で、大変よかったと思う。

本日、藤島地域の長沼で、長沼が生んだ鶴岡の発明王、齋藤外市翁生誕160年祭・没後99年を偲ぶ会に出席した。黒羽根先生の講演があり、その中で、齋藤外市のことを広く市民や子どもたちにも紹介していくことが大切なのではないかというお話があった。こういうふうに小学生でもわかりやすい文で紹介をするというのは大変よいことだと思う。今回、藤沢周平氏について教材化したわけだが、他にも鶴岡には偉人がいるので、その方々についても教材化できないか、今後、教育委員会の方でも検討していかなければならないかと感じたところである。他にあるか。

2番委員

対象は小学校4、5年生ということだが、理由があるのか。

藤沢周平記念館長

対象については、学校教育課と相談のうえ、地域学習などでよく取り上げられる学年ということで4年生5年生を対象とした。

2番委員

中学生向けはないのか。

藤沢周平記念館長

中学生向けには、もう少しレベルの高い内容になると思う。今回は小学生向けということで、内容を簡単に端的なものとした。学校教育課から配付する地域学習の副読本があり、デジタル配付しているということだったので、単独であるが、同じくデジタル形式で作成した。

教育長

小学校の社会科の副読本は3年生4年生で使用するものだが、それ自体も現在はPDFで配付している。生誕100年の記念事業に向けて、中学生高校生にも授業を広げていきたいという考えもあったように思う。2番委員からの質問にもあったが、中学校へのアプローチも今後検討してもらえればと思う。

1番委員

この教材は画像のデータだけか。

藤沢周平記念

そうである。

館長

1 番委員

例えば音声での説明や動画など、デジタルで配信するのであれば、そういうことも可能だと思う。今からということではないが、そういう工夫もあれば、更に見やすいのではないか。特に小学生には親しみやすいと感じる。今、様々なことが簡単にできる世の中であるので、動画など様々な手段もあるので検討されてはどうか。これはこれでよいと思う。

藤沢周平記念
館長

貴重な意見に感謝申し上げます。

現在、藤沢周平記念館のホームページの更新を予定している。委員の発言にあったような、音声や動画などの取り込みも検討している。音で見る藤沢作品の世界など、感覚的な実感を得られるような趣向を凝らしたホームページ更新に取り組んでおり、3月には更新の予定である。

教育長

ほかに質問、意見はないか。

なければ、次に報告事項（5）について、事務局より説明願う。

図書館長

9月28日（日）まで図書館2階、郷土資料館展示コーナーで本市出身の文学者 丸谷才一氏の功績を紹介する企画展示を開催している。小説やエッセイ、翻訳や評論など多彩な分野で活躍された中から、代表作の原稿や関連資料を多数展示している。

特に今回の展示では、丸谷氏と故郷鶴岡との関わりに焦点をあて、当館で所蔵していた、荘内中学校時代に学校文集へ掲載された文章や、文化勲章受章に際し、母校、朝暘第一小の図書委員の児童の方にあてた手紙などを紹介している。この機会にぜひご覧いただきたく案内する。

教育長

ただいまの報告にご質問、ご意見はないか。

なければほかに、報告事項はあるか。委員から何かあるか。

なければこれをもって8月の定例教育委員会を終了する。

閉 会 （午後3時53分）